

# 平成 26 年度 登録建築板金基幹技能者講習試験

(東北ブロック)

1 年 月 日 平成 26 年 4 月 26 日(土)

2 会 場 岩手県花巻市「花巻高等職業訓練校」

3 試験時間 1 時間

4 問題数 30 問 (4 者択一式)

5 注意事項

- (1)係員の指示があるまで、この表紙は開けないで下さい。
- (2)解答用紙に、組合名、受験番号・氏名を必ず記入して下さい。
- (3)試験開始の合図で始めて下さい。
- (4)解答方法は、正解と思うものを一つ選んで解答して下さい。二つ以上解答した場合は誤答となります。
- (5)解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。
- (6)携帯電話は、試験前には必ず電源を切って下さい。
- (7)試験中に質問がある時は、速やかに手を挙げて下さい。但し、試験問題の内容や漢字の読み方等に関する質問は、お答えできません。
- (8)試験終了時刻前（試験開始から 30 分経過後）に解答が終了した場合は、速やかに手を挙げて、係員の指示に従って下さい。
- (9)試験中に手洗いに行きたくなった時は、速やかに手を挙げて、係員の指示に従って下さい。

試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従って下さい。

# 平成 26 年度 登録建築板金基幹技能者講習試験問題

平成 26 年 4 月 26 日出題

## 1. 登録基幹技能者講習制度について、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 基幹技能者制度は、平成 8 年に専門工事業団体による民間資格としてスタートした。
- ロ 登録基幹技能者制度は、平成 20 年建設業法施行規則の改正に基づき制度化された。
- ハ 登録基幹技能者講習は、国土交通大臣が認可した実施機関が行う。
- ニ 登録基幹技能者講習を受講するには、該当する職種の 7 年以上の実務経験と 3 年以上の職長経験のほか、実施機関で定めている資格等の保有が必要である。

## 2. 登録基幹技能者の役割について、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示及び調整は求められていない。
- ロ 現場の作業を効率的に行うため、技能者の適切な配置、作業方法及び手順を考慮する。
- ハ 前工程、後工程に配慮し、他の職長との連絡・調整を行う。
- ニ 現場の状況に応じて施工方法等の提案、調整を行う。

## 3. 登録基幹技能者の能力について、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 一般の技能者を指揮・監督できる十分な作業能力。
- ロ 物事の重要度、緊急度が判断できる能力。
- ハ 技術者、他の職長との調整能力までは求められていない。
- ニ 未熟練の作業者をレベルアップさせる OJT 教育を行う能力。

## 4. 施工管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 建設工事は、自然現象の不確定要素に左右される。
- ロ 建設工事は、過去の経験や実績による施工が行われることは少ない。
- ハ 建設工事は、建設する目的の性質から企業規模の小さなものから大きなものと企業格差が他の産業より大きい。
- ニ 建設工事は、受注生産で個々の工事はひとつひとつ特徴が異なるので、大量見込生産ができない。

5. 施工管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 施工管理の目的としては、品質（より良く）、工期（より早く）、価格（より安く）の三要素に集約することができる。
- ロ 施工管理の三要素とは、品質管理・工程管理・原価管理をいう。
- ハ 施工管理とは、目的物を予算内で決められた工期内に要求される形状や品質のものを築造するための建設工事の施工に関する生産の総称をいう。
- ニ 施工管理とは、5つの施工手段（5M）を用いて計画を立て、この計画を基に施工管理を行う必要がある。

6. 工程管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 工程計画の立案にあたっては、施工計画の基本となる機械設備の規模、台数等の検討も並行して行う必要がある。
- ロ 工期の直接の目的は、工期内の完成の確保であるが、工程計画の適否が工事の良否を決定することはない。
- ハ 建設工事は、野外作業が多いため、作業可能日数は現地の地形、気象等自然条件を十分調査し、対象工事の技術的特性を考えて算定しなければならない。
- ニ 工程計画は、その内容を各種の工程表として図化し、実施や検討の基準としても使用する。

7. 工程管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 工程表の様式には、バーチャート、ガントチャート、斜線式工程表などがある。
- ロ バーチャートは、横軸に日数をとるので、各作業の所要日数と作業間のつながりが把握できる。
- ハ 斜線式工程表は、横線式工程表に施工場所の要素を合せて表現したもので工種が比較的少ない工事に適している。
- ニ ガントチャートは、横軸に各作業の完了点を50%としてその達成度を表示する。

8. 資材管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 資材管理の目的は、規格、仕様に適合した品質の資材を適切な価格で発注し、現場の進捗等に見合った数量を順序よく指定場所へ搬入し、資材にあった保管管理を行って工事を円滑に運営する。
- ロ 素材の輸送方法は、輸送する資機材の種類、大きさ、重量だけを把握して決定する。
- ハ 資材等の発注時期の決定は、他業種との工程上の関連を十分勘案し、工程全体を把握して現場の資材の必要時期を想定して行う必要がある。
- ニ 資材の受け入れ検査で外観にて判明する資材以外は荷ほどきして検収を行うようにする。

**9. 資材管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているものはどれか。**

- イ 現場内に資材を保管する場合には、資材の性質によって除湿や荷崩れ防止策などの配慮が必要である。
- ロ 立会検査において、製作図との相違や不都合な箇所があった場合には、納入後に修正を行えばよい。
- ハ メーカーとの打ち合わせに際しては、客先の意向や現場での施工上の納まりを考慮し、それらの情報を正確にメーカーに伝える必要がある。
- ニ 資材が製作図通りに製作されているかどうかは工場立会検査で確認する必要がある。

**10. 原価管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。**

- イ 水準を越えた監理の厳しさでは、原価が大幅に膨らむ。
- ロ 発注者側からの業者指定がある場合、購買価格は無指定に比べて割高になる。
- ハ 急施工（突貫工事）は、予想外に原価が膨らむ。
- ニ 発注者側の監理姿勢は、原価に反映しない。

**11. 原価管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。**

- イ 建設現場の条件によって、工事価格が大きく違う場合がある。
- ロ 公共工事の予定価格は、法律に基づいて入札前に公表される。
- ハ 実行予算と実施原価を対比しつつコスト低減の努力をする。
- ニ 建設工事を成功させるために、施工計画のすべてを折り込んだ適正な実行予算書をつくる。

**12. 品質管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。**

- イ 高い品質は、発注者をはじめ、設計・監理者、ゼネコン、専門工事業者、材料供給業者間で品質に関する考え方の共有が必要である。
- ロ 一般に品質管理とは、「買い手の要求に合った品質の物またはサービスを経済的に作り出す」と定義される。
- ハ 最終的な品質の高さは、品質の高い工程を積み重ねることによって実現する。
- ニ 建築活動を規定する最も基本となる法律が建築基準法である。建物を建築する際に適合する必要がある、2000年に制定され、数度の改正がなされている。

13. 品質管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 建設現場作業では、施工品質を確保したり、向上させたりするため可能な範囲で作業の標準化を図る必要があり、この標準化の作業内容を文書化したものが「施工要領書」である。
- ロ 品質には、設計段階で定められる「設計品質」と施工段階で実現する「施工品質」がある。
- ハ 総合的品質管理とは、製造工程における品質管理を進める上で、経営者や関係者全体が連携して品質管理を効果的に実施して行くことである。
- ニ 基幹技能者は、経済社会の変化、法規や規則の変更により高い品質や生産性を実現するための工夫等を作業標準書に反映させて標準作業書 PDCA サイクルを回す役割を担う。

14. 安全管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 建設業の労働災害のうち、建設工事の種別では、ビル工事、木造工事で 60%を占めており、又事故の型別は、落下が圧倒的に多い。
- ロ 我が国における建設業の労働災害発生件数は、長期的には大幅に増加している。
- ハ 労働安全衛生法で定められている作業員が守らなければならない業務として安全状態を保つ義務、安全措置を講ずる義務、保護具の着用・使用義務、危険行動の禁止義務などがある。
- ニ 労働安全衛生法で定める作業員が守らなければならない義務に無資格就労の禁止義務がある。

15. 安全管理に関する内容で、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 作業員が守らなければならない義務の一つに、安全状態を保つ義務がある。
- ロ リスクアセスメントの実施により、予防の安全管理、自主的な安全活動などができるようになる。
- ハ KY 活動とは、作業前にグループごとにその日の作業の危険ポイントを洗い出し、適切な対策を立てる活動をいうが、マンネリ化させない工夫までは必要とされていない。
- ニ 安全施工サイクルとは、建設現場の日常業務の中に様々な安全活動を組み入れ、労働災害防止のため、一日の安全施工サイクルを設定し、それを回し続けることをいう。

16. 労働安全衛生法（抄）に定める総括安全衛生管理者の統括管理業務について、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 健康診断の実施その他健康維持増進のための措置。
- ロ 労働者の安全又は衛生のための教育の実施。
- ハ 労働者の危険又は健康障害を防止するための措置までは含まれていない。
- ニ 労働災害の原因の調査及び再発防止対策。

17. 建設業法では、元請人は下請人に見積りをさせるために、一定の見積り期間を設けなければならないと定められている。次の記述のうち違反行為となるのはどれか。

- イ 元請人が予定価格 400 万円の下請契約を締結する際、見積期間を 3 日として下請人に見積りを行わせた。
- ロ 元請人が予定価格 1,000 万円の下請契約を締結する際、見積期間を 10 日として下請人に見積りを行わせた。
- ハ 元請人が予定価格 2,000 万円の下請契約を締結する際、見積期間を 12 日として下請人に見積りを行わせた。
- ニ 元請人が予定価格 5,000 万円の下請契約を締結する際、見積期間を 12 日として下請人に見積りを行わせた。

18. 建設業法で定める契約書面に記載する必要がないものは、次のうちどれか。

- イ 下請代金の額
- ロ 下請負人の経歴及び履歴
- ハ 工事内容
- ニ 工事完着手の時期及び工事完成の時期

19. 建設業法上、次の記述のうち違反行為となるのはどれか。

- イ 下請工事に関して、元請人と下請人相互で、建設業法で定める必要事項を記載して契約書面を行った。
- ロ 当事者間で基本契約を取り交わした上で、具体的な取引については法令に基づき注文書及び請書に必要な機構を記載し、署名又は記名公印して契約を行った。
- ハ 下請工事に関して、電話だけで契約を行った。
- ニ 建設業法で定める一定の条件について電子契約を行った。

20. 社会保険、労働保険に関して、次の記述のうち誤っているのはどれか。

- イ 社会保険や労働保険は、労働者が安心して働くために必要な制度である。
- ロ 社会保険と厚生年金保険は、法人の場合はすべての事業所、個人経営の場合でも常時 3 人以上の従業員を使用する限り必ず加入しなければならない。
- ハ 社会保険、労働保険等は、建設業者が義務的に負担しなければならない法定福利費であるが、建設業法に規定する「通常必要と認められる原価」に含まれるものである。
- ニ 社会保険、労働保険への加入は、法律で義務付けられているので、保険未加入者はその情状によっては建設業法の「その業務に関し他の法令に違反し、建設業者として不適格」に該当する恐れがある。

21. 一般に板金と呼ばれる金属板には、鋼板を中心に厚板、中板、薄板がある。  
次の記述のうち正しいのはどれか。

- イ 厚板は厚さが 5mm 以上のものをいう。
- ロ 中板は厚さが 4mm を超え 5mm 未満のものをいう。
- ハ 中板は厚さが 3mm を超え 4mm 未満のものをいう。
- ニ 薄板は厚さが 3mm 以下のものをいう。

22. 建築板金の技能・技術に関する内容で、次の記述で誤っているのはどれか。

- イ 建築板金の技能のひとつに加工技能がある。これは金属の弾性加工において発揮される。
- ロ 建築板金の技能のひとつに施工技能がある。これは加工技能を応用するかたちで発揮される。
- ハ 建築板金の技術とは、技能の技術化についての能力である。
- ニ 建築板金の技術とは、技術の技能化の能力である。

23. 建築計画の基本的条件に関する次の記述で誤っているのはどれか。

- イ 経済的条件：予算、規模、材料
- ロ 社会的条件：都市・建築関連法規、美観
- ハ 機能上の要求条件：近隣対策、安全第一
- ニ 敷地条件：立地条件、自然条件、社会的条件

24. 建築表面としての屋根・壁に関する次の記述で誤っているのはどれか。

- イ 建物の平面形が同一であっても屋根勾配・形状が変化すると、屋根面積と納まり部の数量に大きな差が出る。
- ロ 外皮面積が小さい場合には、外皮からのエネルギー損失が少なく有利である。
- ハ 外皮面積が小さい場合には、外皮建設コストが少なく有利である。
- ニ 屋根面積の増加に及ぼす影響は陸屋根を基準とすると 4 寸勾配位まではあまり大きな差はないが、それ以上では著しく小さくなる。

25. 屋根の形状に関する内容で、次の記述で誤っているものはどれか。

- イ 入母屋屋根とは、古代では「真屋」とも呼ばれ日本の建築で最も多く用いられる屋根の基本形である。
- ロ 寄棟屋根とは、古代では「東屋」とも呼ばれた寄せ棟は、切妻屋根と同様代表的な屋根の形状である。
- ハ 方形屋根とは、「宝形」とも呼ばれ、四隅の棟が一点に集まる屋根形状で寄棟屋根形状に属する。
- ニ 方流れ屋根とは、一方に傾斜した単純な屋根で、折板など金属葺きに適している。

26. 屋根の勾配は、屋根面（斜辺）が水面（底辺）に対してなす角度で表されるが、その表記にないのはどれか。

- イ 寸法勾配
- ロ 係数勾配
- ハ 分数勾配
- ニ パーセント勾配

27. 鉄丸棒の引張試験における応力歪線図に関する、次の記述で誤っているのはどれか。

- イ 上位降伏点は下位降伏点より先に現れる。
- ロ 切断強度は引張り強度より小さい。
- ハ 引張り強度は上・下位降伏点強度より大きい。
- ニ 切断強度は引張り強度より大きい。

28. 作業手順書に関する記述のうち、[ ]に当てはまる正しいものはどれか。

作業手順書とは、「施工品質管理表」、「施工要領書」で定められた各種の管理に基づき、作業をどのように進めるかを[ ]したものである。

- イ 抽象化
- ロ 規則化
- ハ 具体化
- ニ 規制化

29. 「建設産業を取り巻く環境の変化」に関する内容で、次のうちで誤っているのはどれか。

- イ 建設労働力の減少化
- ロ 元請による指値発注による発注形式の多発
- ハ 受注競争の激化と建設コストの低減
- ニ 社会保険・労働保険の強制加入による労働条件の改善の動き

30. 「壁体開口と雨水の透過メカニズム」の種類現象、その対策の組合せに関する内容で、次のうち最も不適正なのはどれか。

- イ 圧力差の作用により雨水が間隔を満たす現象・・・対策としては「圧力差の水頭以下の立上り」を設ける。
- ロ 壁面に沿うまわり込み現象・・・対策としては「水切り」を設ける。
- ハ 圧力差の作用により雨水が間隔を満たさない場合・・・対策としては「等圧設計」を設ける。
- ニ 毛細管現象・・・対策としては「毛細管の中断」を行う。